

病院再開発計画の進捗状況について

～計画の核となる新病棟(D病棟)が完成



滋賀医科大学医学部
附属病院長
森田 陸司



滋賀医科大学では、平成17年度から病院の再開発計画に取り組んできましたが、昨年8月には、全体計画の中でも最大規模の事業となる新病棟(D病棟)が完成しました。職員のアイデアを取り入れて、機能面の充実、アメニティの向上を実現した新病棟をご紹介します。

職員のアイデアを生かし 患者アメニティを充実

昭和53年に開院した滋賀医科大学医学部附属病院は、建物や施設の老朽化や医療を取り巻く環境の変化に対応するため、病院再開発計画に取り組んでいます。新病棟の建設と中央診療棟の増築工事、既存病棟、中央診療棟、給食棟、外来棟などの改修工事を行い、23年度内にすべての改修工事を完了して新しい病院に生まれ変わります。

再開発のコンセプトとして、「地域密着型病院」「医療安全推進病院」「機能集約的医療体制の構築」という3つの柱を掲げています。

建物の中央部分に光庭を設けて、大きな窓から建物内に光が入るようにしたD病棟は、患者アメニティへのさまざまな配慮が特徴となっていて、たとえば、病室はすべて4床室(47室)と個室(98室)とし、各部屋にトイレと手洗いを設置しました。スタッフステーションはオープンカウンター方式にして、スタッフとのコミュニケーションがより気軽に行えるようにしました。誘導サインも大きな文字を使ってメリハリをつけたわかりやすい表示が用いられています。

またフロアごとに、患者食堂、面談室、家族控え室が設けられていて、特に最上階の展望レストランと喫茶コーナーからは、琵琶湖や比叡山を一望することができます。

安全面への配慮、 業務の効率化にも工夫

滋賀医科大学医学部附属病院では、平成14年に従来の内科・外科を再編成して、臓器別の診療科としました。循環器病棟、呼吸器病棟、消化器病棟、頭頸部病棟といった臓器別病棟体制をとる機能集約型病院として、各診療科の専門スタッフが集まって、最適な医療が行える体制づくりに取り組んできました。

新病棟は1管理2ナースステーション型とし、スタッフを集約的に配置しています。各フロアに準集中治療室の機能を備えた観察室を設けて、急性期の患者さんに迅速に対応できるようにしています。

看護支援システム「インテリジェントナースコール」を導入、患者さんの情報を収集・分析してニーズを予測し、よりスムーズな看護を提供できるようにしました。自動採尿比重測定装置や介助浴装置の導入と合わせて、看護師の業務を軽減するこ

右から

デイコーナー
患者食堂
展望レストラン



右から

特別病室 A
特別病室 B
4 床 室



右から

エレベーターホール
観察ベッド
観察室



右から

3D スタッフステーション
光 庭
介助浴室



とで、もっと患者さんの看護に専念できるようにします。

また、医療安全推進病院として安全対策にも配慮しています。感染対策用病室を開設したほか、吸引や酸素吸入が安全に行われるよう複数の

医療ガスアウトレットが設置されています。

その他、本格的な電子カルテ化に対応する画像配信設備の設置など、機能性や能率性を高めることで、より良い医療の提供をめざします。

Relax & Nature

LAKE VIEW RESORT 雄大な琵琶湖に、心と体を解き放つ。

ISO9001・ISO14001 認証取得
〒520-0041 大津市浜町2-40 TEL.077-524-7111 (代表)
http://www.biwakohotel.co.jp/
■JR大津駅より徒歩10分 ■京阪浜大津駅より徒歩5分 ■名神大津ICより車で5分

琵琶湖ホテル

西武グループ

でかける人を、ほほえむ人へ。

琵琶湖リゾート。全室レイクビュー。
540室の客室で過ごすラグジュアリーな時間をご堪能ください。

Prince Hotel Otsu
大津プリンスホテル
〒520-8520 滋賀県大津市におの浜4-7-7
TEL: 077-521-1111
www.princehotels.co.jp/otsu